

# 監督者研修Ⅰ

II  
階層別研修

## 目的

監督者としての職責を自覚し、地方公共団体を取り巻く環境の変化や地域の課題を的確に捉え、チームリーダーとしての職務遂行能力の向上を図ります。

## 科目

### (1) 財務会計実務

【大崎 映二】

監督者として必要な財務の基礎的な考え方を身につけるため、適正な会計処理や予算決算、契約までの財務の基本事項について学びます。

- 予算決算の基礎知識
- 収入事務・支出事務のポイント
- 支出負担行為と契約のポイント

### (2) 監督者としての心構え

【岡山 洋一】

監督者の職責や役割、心構えを学ぶとともに、目標による管理の考え方を重点的に学ぶことで、チームリーダーとして必要なマネジメント技法を習得します。

- 監督者の役割・責務・心構え
- 目標管理
- 人材育成における監督者の役割
- コーチング技法

## 対象・日程等

対象者：新任係長級にある職員

日程：

A日程 令和6年 5月22日(水)～ 5月24日(金)

B日程 令和6年 7月 3日(水)～ 7月 5日(金)

C日程 令和6年 8月19日(月)～ 8月21日(水)

D日程 令和6年10月23日(水)～10月25日(金)

定員数：240人(60人×4日程)

場所：東北自治総合研修センター

受付時間：午前8時50分～9時20分

## 準備物

特にありません。

## その他

以下の科目に事前課題があります。

- ・監督者としての心構え

## 講師

おおさき 映二

(一社)日本経営協会 専任講師



■担当研修 「財務会計実務」

### ■経歴

東京都東久留米市役所に入庁後、管理職として障害福祉課長、企画調整課長、子ども家庭部長などを経験。教育部長を最後に早期退職。

その後、平成21年まで民間のコンサルタント会社においてテクニカルアドバイザー(財政改革アドバイザー)として活動。

現在はフリーの行政アドバイザーとしての活動を中心に、東京都豊島区政策評価委員、栃木県佐野市外部評価委員会委員、佐野市市有施設適正配置推進会議委員、(一社)日本経営協会講師を務めている。

### ○著書

『55のポイントでわかる自治体職員 新 はじめての出納事務』(学陽書房・令和2年)

『50のポイントでわかる自治体職員はじめての公金の管理と運用』(学陽書房・令和4年)ほか多数の著書を出版している。

おかやま 洋一

(株)行政マネジメント研究所 専任講師



■担当研修 「監督者としての心構え」

### ■経歴

昭和57年 大学卒業後、民間企業において、論理的思考を基にした発想力、問題解決力、創造力の向上を図る能力開発業務に従事。

昭和59年 議論や交渉の際に重要なディベート、プレゼンテーション、ファシリテーション等の専門的教育に着手。

平成17年 S D I札幌ディベート研究所を設立し、同研究所代表に就任。

平成18年 株式会社行政マネジメント研究所専任講師として活動。

## タイムスケジュール

	9:00	9:30	10:00	12:00	13:00	16:00	17:00
1日目	開講式 村エンゲージ		(1) 財務会計実務	休 憩	(1) 財務会計実務	宿泊村エンゲージ	
2日目	(2) 監督者としての心構え				(2) 監督者としての心構え		
3日目	(2) 監督者としての心構え				(2) 監督者としての心構え	閉講式	